

注3

大学番号：031

[平成22年度設置]

計画の区分：研究科の設置

注1

事前伺い

電気通信大学大学院 情報理工学研究科

注2

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 電気通信大学
平成24年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総務課

職名・氏名 係長 コバヤシノリアキ
小林律明

電話番号 042-443-5050

（夜間） 042-443-5050

F A X 042-443-5010

e-mail kchosa-k@office.uec.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は届出時基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

届出時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には認可時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成24年3月12日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書」の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目 次

	ページ
1 調査対象大学等の概要等	1
2 授業科目の概要	14
3 施設・設備の整備状況, 経費	25
4 既設大学等の状況	26
5 教員組織の状況	27
6 留意事項に対する履行状況等	35
7 その他全般的事項	36

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 電気通信大学

(2) 大学名

電気通信大学

(3) 大学の位置

〒182-8585

東京都調布市調布ヶ丘1丁目5番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
学長			
学部長			
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成21年度に報告済の内容 → (21)

平成24年度に報告する内容 → (24)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成22年度開設の博士後期課程の場合(平成24年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員		
情報理工学研究科 総合情報学専攻(博士後期課程) 博士(工学) (理学) (学術)	3年	6人	18人	基礎となる学部名等 情報理工学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成23年度		平成24年度		平均入学定員超過率	備考
	平成22年度		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	6 (-) [-]	人 人	6 (-) [-]	人 人	6 (-) [-]	人 人	1.66倍	
志願者数	13 (6) [1]	4 (2) [1]	7 (0) [2]	2 (1) [1]	6 (2) [0]	- (-) [-]		
受験者数	13 (6) [1]	4 (2) [1]	7 (0) [2]	2 (1) [1]	6 (2) [0]	- (-) [-]		
合格者数	13 (6) [1]	4 (2) [1]	7 (0) [2]	2 (1) [1]	6 (2) [0]	- (-) [-]		
B 入学者数	12 (5) [1]	4 (2) [1]	7 (0) [2]	2 (1) [1]	5 (1) [0]	- (-) [-]		
入学定員超過率 B/A	2.66		1.50		0.83			

- (注) ・ 数字は, 平成24年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 届出書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		備 考
	春入学	秋入学	春入学	秋入学	春入学	秋入学	春入学	秋入学	
1年次	[1] 12	[1] 4	[2] 7	[1] 2	[0] 5	[1] 2			
2年次	/		[1] 11	[1] 4	[2] 7	[1] 4			
3年次	/		/		[1] 9	[-] -			
計	[2] 16		[4] 24		[5] 27				

- (注) ・ 数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成22年度 入学者	16 人	0 人	平成22年度	0 人	0 人		0.0 %
			平成23年度	0 人	0 人		
			平成24年度	0 人	0 人		
平成23年度 入学者	9 人	0 人	平成23年度	0 人	0 人		0.0 %
			平成24年度	0 人	0 人		
平成24年度 入学者	5 人	0 人	平成24年度	0 人	0 人		0.0 %
合 計	30 人	0 人					0 %

(注)・数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成24年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成22年度開設の博士後期課程の場合(平成24年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員		
情報理工学研究科 情報・通信工学専攻(博士後期課程) 博士(工学) (理学) (学術)	3年	9人	27人	基礎となる学部名等 情報理工学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成23年度		平成24年度		平均入学定員超過率	備考
	平成22年度		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 人 9 (-) [-]		人 人 9 (-) [-]		人 人 9 (-) [-]		1.07倍	
志願者数	4 8 (1) (1) [2] [5]		11 4 (5) (2) [3] [2]		6 - (2) (-) [4] [-]			
受験者数	4 8 (1) (1) [2] [5]		11 4 (5) (2) [3] [2]		6 - (2) (-) [4] [-]			
合格者数	4 8 (1) (1) [2] [5]		9 4 (4) (2) [2] [2]		6 - (2) (-) [4] [-]			
B 入学者数	3 7 (1) (1) [1] [4]		9 4 (4) (2) [2] [2]		6 - (2) (-) [4] [-]			
入学定員超過率 B/A	1.11		1.44		0.66			

- (注) ・ 数字は, 平成24年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 届出書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ [] 内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		備 考
	春入学	秋入学	春入学	秋入学	春入学	秋入学	春入学	秋入学	
1年次	[1] 3	[4] 7	[2] 9	[2] 4	[4] 6	[2] 4			
2年次	/		[1] 3	[3] 6	[2] 9	[3] 6			
3年次	/		/		[1] 2	[-] -			
計	[5] 10		[8] 22		[12] 27				

- (注) ・ 数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成22年度 入学者	10 人	1 人	平成22年度	0 人	0 人	・他の教育機関への入学・転学 (1人)	10.0 %
			平成23年度	1 人	1 人		
			平成24年度	0 人	0 人		
平成23年度 入学者	13 人	0 人	平成23年度	0 人	0 人		0.0 %
			平成24年度	0 人	0 人		
平成24年度 入学者	6 人	0 人	平成24年度	0 人	0 人		0.0 %
合 計	29 人	1 人					0.034483 %

(注)・数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成24年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成22年度開設の博士後期課程の場合(平成24年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員		
情報理工学研究科 知能機械工学専攻(博士後期課程) 博士(工学) (理学) (学術)	3年	5人	15人	基礎となる学部名等 情報理工学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	5 (-) [-]		5 (-) [-]		5 (-) [-]		1.66倍	
志願者数	8 (0) [1]	2 (2) [0]	8 (1) [3]	1 (0) [0]	9 (3) [4]	- (-) [-]		
受験者数	8 (0) [1]	2 (2) [0]	8 (1) [3]	1 (0) [0]	9 (3) [4]	- (-) [-]		
合格者数	8 (0) [1]	2 (2) [0]	8 (1) [3]	1 (0) [0]	8 (2) [4]	- (-) [-]		
B 入学者数	8 (0) [1]	2 (2) [0]	8 (1) [3]	1 (0) [0]	6 (1) [4]	- (-) [-]		
入学定員超過率 B/A	2.00		1.80		1.20			

- (注) ・ 数字は, 平成24年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 届出書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで**記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		備 考
	春入学	秋入学	春入学	秋入学	春入学	秋入学	春入学	秋入学	
1年次	[1] 8	[0] 2	[3] 8	[0] 1	[4] 6	[0] 1			
2年次	/		[1] 11	[0] 1	[3] 8	[0] 1			
3年次	/		/		[1] 6	[-] -			
計	[1] 10		[4] 16		[8] 22				

- (注) ・ 数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成22年度 入学者	10 人	3 人	平成22年度	2 人	0 人	・他の教育機関への入学・転学 (2人)	30.0 %
			平成23年度	1 人	0 人	・学生個人の心身に関する事情 (1人)	
			平成24年度	0 人	0 人		
平成23年度 入学者	9 人	0 人	平成23年度	0 人	0 人		0.0 %
			平成24年度	0 人	0 人		
平成24年度 入学者	6 人	0 人	平成24年度	0 人	0 人		0.0 %
合 計	25 人	3 人					0.12 %

(注)・数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成24年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成22年度開設の博士後期課程の場合(平成24年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員		
情報理工学研究科 先進理工学専攻(博士後期課程) 博士(工学) (理学) (学術)	3年	9人	27人	基礎となる学部名等 情報理工学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	9 (-) [-]		9 (-) [-]		9 (-) [-]		0.95倍	
志願者数	3 (0) [1]	3 (0) [3]	11 (1) [3]	4 (0) [4]	8 (1) [1]	- (-) [-]		
受験者数	3 (0) [1]	2 (0) [2]	11 (1) [3]	4 (0) [4]	8 (1) [1]	- (-) [-]		
合格者数	3 (0) [1]	2 (0) [2]	11 (1) [3]	4 (0) [4]	8 (1) [1]	- (-) [-]		
B 入学者数	3 (0) [1]	2 (0) [2]	9 (1) [1]	4 (0) [4]	8 (1) [1]	- (-) [-]		
入学定員超過率 B/A	0.55		1.44		0.88			

- (注) ・ 数字は, 平成24年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 届出書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで**記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		備 考
	春入学	秋入学	春入学	秋入学	春入学	秋入学	春入学	秋入学	
1年次	[1] 3	[2] 2	[1] 9	[4] 4	[1] 8	[4] 4			
2年次	/		[1] 3	[2] 2	[1] 9	[2] 2			
3年次	/		/		[1] 3	[-] -			
計	[3] 5		[8] 18		[9] 26				

- (注) ・ 数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成22年度 入学者	5 人	0 人	平成22年度	0 人	0 人		0.0 %
			平成23年度	0 人	0 人		
			平成24年度	0 人	0 人		
平成23年度 入学者	13 人	0 人	平成23年度	0 人	0 人		0.0 %
			平成24年度	0 人	0 人		
平成24年度 入学者	8 人	0 人	平成24年度	0 人	0 人		0.0 %
合 計	26 人	0 人					0 %

(注)・数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成24年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<情報理工学研究科 総合情報学専攻（博士後期課程）>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
大学院共通教育科目	大学院総合コミュニケーション科学	1・2・3前		2		1						
大学院教養教育科目	技術者と安全・環境・倫理	1・2・3前		2		1						
	国際社会の政治・経済	1・2・3前		2			2					
	日本とアジアの近代史	1・2・3後		2								
	科学技術と歴史・経済・社会	1・2・3後		2			1					
	幾何学特論	1・2・3後		2		1	1					
	解析学特論	1・2・3後		2			2	3	1			教育内容充実のため、専任准教授3名で対応(23) 教育内容充実のため、専任准教授2名で対応(うち1名は平成21年度に専任講師から専任准教授に昇任)(22)
大学院教養教育科目	代数学特論	1・2・3後		2		1	1					
	Fundamental Concepts of Discrete-time Signal Processing	1・2・3後		2		1						専任教授1名が平成23年度に定年退職のため後任補充までの間、兼任教員が担当。なお、学生の教育に支障はない。(24) 教育内容充実のため科目を追加(高度な英語技術科目の増設)(23)
大学院実践教育科目	Advanced International Academic Skills	1・2・3後		2			1					教育内容充実のため科目を追加(高度な英語技術科目の増設)(23)
	大学院輪講第二	1~3通	4			14-17	14-17					専任教授・専任准教授の退職、昇任、採用に伴う変更(24)
	ベンチャービジネス特論	1・2・3前		2								
	知的財産権特論	1・2・3後		2								
	先端技術開発特論	1・2・3後		2								
	ETL(Elementary Teaching Laboratory)	1・2・3通		2		1	2		1			実験教育内容充実のため教授2名、准教授1名、助教1名で対応(22)
	技術経営実践スクール	1・2・3前		2								
	大学院インターンシップ	1・2・3前		2								
大学院専門教育科目	大学院インターンシップ(海外)	1・2・3前		2								
	大学院インターンシップ(長期)	1・2・3前		4								
	大学院インターンシップ(海外・長期)	1・2・3前		4								
	メディア論特論	1・2・3前		2		1						
	認知科学特論	1・2・3前		2			1					
	画像認識システム特論	1・2・3前		2			1					
	認知プロセス論特論	1・2・3前		2			1					
	視覚情報処理特論	1・2・3前		2			1					
	コミュニケーション論特論	1・2・3前		2				1				専任准教授1名が平成22年度に退職のため後任補充までの間、兼任教員が担当。なお、学生の教育に支障はない。(23)
	計算機科学特論	1・2・3後		2		1						
	インタラクティブシステム特論	1・2・3後		2			1					
	マルチメディアコンピューティング特論	1・2・3後		2		1						
	マルチエージェントシステム特論	1・2・3後		2		1	1					専任准教授1名が専任教授1名に昇任(23)
	知的情報処理特論	1・2・3後		2		1						
	品質情報管理特論	1・2・3前		2			1					
	金融工学特論	1・2・3前		2			1					
	生体システム工学特論	1・2・3前		2		1						
システム最適化特論	1・2・3前		2									
経営システム工学特論	1・2・3前		2			1					専任教授1名が平成22年度に定年退職のため後任補充までの間、兼任教員が担当。なお、学生の教育に支障はない。(23)	
知能システム特論	1・2・3前		2			1						
認知情報システム特論	1・2・3後		2			1						
生産システム特論	1・2・3後		2		1							
システム信頼性特論	1・2・3後		2		1							
情報経済システム特論	1・2・3後		2		1							
メディアセキュリティ特論	1・2・3前		2		1							

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	ネットワークセキュリティ特論	1・2・3前		2			1					教育内容充実のため、専任准教授1名 で対応(23) 専任教授の負担軽減のため平成24年度 に兼任教員に変更した。なお、学生の 教育に支障はない。(24)
	応用代数学特論	1・2・3前		2		1						
	ネットワークシステム特論	1・2・3前		2		1						
	離散情報構造特論	1・2・3前		2			1					
	ソフトウェアセキュリティ特論	1・2・3後		2			1					
	暗号理論特論	1・2・3後		2		+						
専門 上級 科目	総合情報学特論	1・2・3前	2			15 18	16				専任教授の退職、昇任、採用に伴う変 更(24)	

- (注) ・ 事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成22年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても、「(1)授業科目表」にはその状況を反映させてください。(ただし、「(3)未開講科目」欄には記載する必要はありません)。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 2	科目 45	科目 0	科目 47	科目 2 [0]	科目 47 [2]	科目 0 [0]	科目 49 [2]	

(注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

(注) ・配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。（ただし、未開講科目があった場合は、(1)「授業科目表」にその状況を反映させてください。）

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

(注) ・設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

(注) ・小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

<情報理工学研究科 情報・通信工学専攻（博士後期課程）>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
大学院共通 教育科目	大学院総合コミュニ ケーション科学	1・2・3前		2		1						
大 学 院 教 養 教 育 科 目	技術者と安全・環境・倫理	1・2・3前		2		1						教育内容充実のため、専任准教授3名で 対応(23) 教育内容充実のため、専任准教授2名で 対応（うち1名は平成21年度に専任講師 から専任准教授に昇任）(22) 専任教授1名が平成23年度に定年退職 のため後任補充までの間、兼任教員が 担当。なお、学生の教育に支障はな い。(24) 教育内容充実のため科目を追加（高度 な英語技術科目の増設）(23) 教育内容充実のため科目を追加（高度 な英語技術科目の増設）(23)
	国際社会の政治・経済	1・2・3前		2			2					
	日本とアジアの近代史	1・2・3後		2								
	科学技術と歴史・経済・社会	1・2・3後		2			1					
	幾何学特論	1・2・3後		2		1	1					
	解析学特論	1・2・3後		2			2	3	4			
	代数学特論	1・2・3後		2		1	1					
	Fundamental Concepts of Discrete-time Signal Processing	1・2・3後		2		1						
	Advanced International Academic Skills	1・2・3後		2			1					
大 学 院 実 践 教 育 科 目	大学院輪講第二	1～3通	4			23	22	18		1	3	専任教授・専任准教授・専任助教の退 職、昇任、採用に伴う変更(24) 専任教授・専任准教授・専任助教の退 職、昇任、採用に伴う変更(23)
	ベンチャービジネス特論	1・2・3前		2								実験教育内容充実のため教授2名、准 教授1名、助教1名で対応(22)
	知的財産権特論	1・2・3後		2								
	先端技術開発特論	1・2・3後		2								
	ETL(Elementary Teaching Laboratory)	1・2・3通		2		1	2	1		1		
	技術経営実践スクール	1・2・3前		2								
	大学院インターンシップ	1・2・3前		2								
	大学院インターンシップ(海外)	1・2・3前		2								
大学院インターンシップ(長期)	1・2・3前		4									
大学院インターンシップ(海外・長期)	1・2・3前		4									
大 学 院 専 門 教 育 科 目	専 門 展 開 科 目	集積回路設計特論	1・2・3前		2		1	2				教育内容充実のため教授2名で対応 (22)
		マイクロ波回路設計特論	1・2・3前		2				3	1		専任准教授の負担軽減のため平成22年 度に専任准教授1名に変更した。なお、 学生の教育に支障はない。(22)
		環境電磁工学特論	1・2・3前		2			1	2	1		専任教授、専任准教授の負担軽減のた め平成22年度に専任准教授1名に変更 した。なお、学生の教育に支障はな い。(22)
		無線通信システム特論	1・2・3前		2			2	1			専任教授の負担軽減のため平成22年 度に専任准教授に変更した。なお、学 生の教育に支障はない。(22)
		情報理論特論	1・2・3後		2		1	1	1			専任准教授の負担軽減のため平成24年 度に専任教授1名に変更した。なお、 学生の教育に支障はない。(24)
		情報光学特論	1・2・3後		2		1		1			専任教授の負担軽減のため平成24年 度に専任准教授1名に変更した。なお、 学生の教育に支障はない。(24)
		宇宙通信工学特論	1・2・3後		2			1	2	1		専任教授、専任准教授の負担軽減のた め平成22年度に専任准教授1名に変更 した。なお、学生の教育に支障はな い。(22)
		光通信システム特論	1・2・3後		2			1	2			教育内容充実のため教授2名で対応 (22)
		暗号理論特論	1・2・3後		2			1				
		センシング工学特論	1・2・3後		2			1	1			専任教授の負担軽減のため平成22年 度に専任准教授1名に変更した。なお、 学生の教育に支障はない。(22)
		マルチメディア信号処理特論	1・2・3後前		2			1	1	1		教育内容充実のため教授1名、講師1 名で対応(23)
		信号解析学特論	1・2・3前		2				1			
		伝送工学特論	1・2・3前		2				4	2		専任准教授の負担軽減のため平成22年 度に専任准教授2名に変更した。な お、学生の教育に支障はない。(22)
電磁波環境観測技術特論	1・2・3後		2			2	1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備 考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
大学院 専門教育科目	生体電子工学特論	1・2・3後		2		+	+					専任教授、専任准教授の負担削減のため、兼任教員へ変更。なお、学生の教育に支障はない。(23) 教育内容充実のため教授1名、准教授1名で対応 (22) 専任教授1名が平成23年度に定年退職のため後任補充までの間、兼任教員が担当。なお、学生の教育に支障はない。(24) より教育内容に即した担当者への変更(22) 専任講師1名が専任准教授1名に昇任(23) 専任教授1名が平成23年度に定年退職のため後任補充までの間、兼任教員が担当。なお、学生の教育に支障はない。(24) 教育内容充実のため、専任教授1名で対応(24) 専任教授1名が平成22年度に定年退職のため後任補充までの間、兼任教員が担当。なお、学生の教育に支障はない。(23)	
	非線形システム特論	1・2・3後		2			1						
	ヒューマンインタフェース特論	1・2・3後		2				1					
	音響システム特論	1・2・3前		2			1						
	ファジィシステム工学特論	1・2・3後		2			+						
	HMM・フォーマンズコンピュータ特論	1・2・3前		2				1					
	並列分散システム特論	1・2・3後		2				1					
	シミュレーション理工学特論	1・2・3後		2			+	1					
	アルゴリズム特論	1・2・3後		2				1	+				
	応用解析学特論	1・2・3後		2			1	1					
	オペレーションズリサーチ特論	1・2・3後		2			1						
	知能情報特論	1・2・3後		2			1						
	理論計算機科学特論	1・2・3前		2				1					
	ソフトウェア基礎特論	1・2・3前		2			1						
	計算機構特論	1・2・3前		2				+					
	ソフトウェアセキュリティ特論	1・2・3後		2				1					
	画像認識システム特論	1・2・3前		2				1					
マルチメディアコンピューティング特論	1・2・3後		2			1							
情報ネットワーク特論	1・2・3後		2			+	1						
ネットワークアプリケーション特論	1・2・3後		2				1						
専門 上級 科目	情報・通信工学特論	1・2・3前	2			23	22	22	24	2	1	3	専任教授・専任准教授・専任助教・専任講師の退職、昇任、採用に伴う変更(24)

- (注) ・ 事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成22年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても、「(1) 授業科目表」にはその状況を反映させてください。(ただし、「(3) 未開講科目」欄には記載する必要はありません)。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 2	科目 51	科目 0	科目 53	科目 2	科目 53	科目 0	科目 55	
				[0]	[2]	[0]	[2]	

(注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

(注) ・配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。（ただし、未開講科目があった場合は、(1)「授業科目表」にその状況を反映させてください。）

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

(注) ・設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = 0$$

(注) ・小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

<情報理工学研究科 知能機械工学専攻（博士後期課程）>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
大学院共通 教育科目	大学院総合コミュニ ケーション科学	1・2・3前		2		1						
大 学 院 教 養 教 育 科 目	技術者と安全・環境・倫理	1・2・3前		2		1						教育内容充実のため、専任准教授3名で 対応(23) 教育内容充実のため、専任准教授2名で 対応（うち1名は平成21年度に専任講師 から専任准教授に昇任）(22) 専任教授1名が平成23年度に定年退職 のため後任補充までの間、兼任教員が 担当。なお、学生の教育に支障はな い。(24) 教育内容充実のため科目を追加（高度 な英語技術科目の増設）(23) 教育内容充実のため科目を追加（高度 な英語技術科目の増設）(23)
	国際社会の政治・経済	1・2・3前		2			2					
	日本とアジアの近代史	1・2・3後		2				1				
	科学技術と歴史・経済・社会	1・2・3後		2				1				
	幾何学特論	1・2・3後		2		1	1					
	解析学特論	1・2・3後		2			2	3	+			
代数学特論	1・2・3後		2			1	1					
Fundamental Concepts of Discrete-time Signal Processing	1・2・3後		2			+						
Advanced International Academic Skills	1・2・3後		2				1					
大 学 院 実 践 教 育 科 目	大学院輪講第二	1～3通	4			16	17	11	12			専任准教授の昇任、採用に伴う変更 (24) 専任教授・専任准教授の昇任、採用に 伴う変更(23)
	ベンチャービジネス特論	1・2・3前		2								実験教育内容充実のため教授2名、准 教授1名、助教1名で対応(22)
	知的財産権特論	1・2・3後		2								
	先端技術開発特論	1・2・3後		2								
	ETL(Elementary Teaching Laboratory)	1・2・3通		2		+	2	1		1		
	技術経営実践スクール	1・2・3前		2								
	大学院インターンシップ	1・2・3前		2								
	大学院インターンシップ(海外)	1・2・3前		2								
	大学院インターンシップ(長期)	1・2・3前		4								
	大学院インターンシップ(海外・長期)	1・2・3前		4								
大 学 院 専 門 展 開 科 目	メカトロニクス特論	1・2・3後		2		1	1					
	ロボット応用工学特論	1・2・3後		2		1	1					
	ロボット機構制御特論	1・2・3後		2		2						
	運動計測学特論	1・2・3後		2		1						
	バーチャルリアリティー特論	1・2・3後		2			2	1				
	コンピュータビジョン特論	1・2・3後		2		1	1					
	ロボット情報工学特論	1・2・3後		2		1	1					
	設計システム工学特論	1・2・3後		2		1	1					
	知的生産システム特論	1・2・3後		2		1	1					
	機械情報学特論	1・2・3後		2		+	1					
	力学系現象特論	1・2・3後		2		1	1					
	計算力学特論	1・2・3後		2		1						
	センサ信号処理学特論	1・2・3後		2		2						
	生体計測工学特論	1・2・3後		2		1	1					
	ロバスト制御工学特論	1・2・3後		2		1						
	組込み制御システム学特論	1・2・3後		2		1	1					
専門 上級 科目	知能機械工学特論	1・2・3前	2			16	18	16	18		1	専任教授・専任准教授・専任助教の昇 任、採用に伴う変更(24)

- (注) ・ 事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
 ・ 設置時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で、
 前年度報告時（平成22年度に認可された大学等は設置認可時）より変更されているものは赤字見え消し修正
 し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても、「(1) 授業科目表」にはその状況を
 反映させてください。（ただし、「(3) 未開講科目」欄には記載する必要はありません）。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
2	33	0	35	2	35	0	37	
				[0]	[2]	[0]	[2]	

(注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

(注) ・配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。（ただし、未開講科目があった場合は、(1)「授業科目表」にその状況を反映させてください。）

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

(注) ・設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

(注) ・小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

<情報理工学研究科 先進理工学専攻（博士後期課程）>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
大学院共通 教育科目	大学院総合コミュニ ケーション科学	1・2・3前		2		1						
大学 院 教 養 教 育 科 目	技術者と安全・環境・倫理	1・2・3前		2		1						
	国際社会の政治・経済	1・2・3前		2			2					
	日本とアジアの近代史	1・2・3後		2								
	科学技術と歴史・経済・社会	1・2・3後		2			1					
	幾何学特論	1・2・3後		2		1	1					
	解析学特論	1・2・3後		2			2	3	4			教育内容充実のため、専任准教授3名で 対応(23) 教育内容充実のため、専任准教授2名で 対応（うち1名は平成21年度に専任講師 から専任准教授に昇任）(22)
	代数学特論	1・2・3後		2			1	1				
	Fundamental Concepts of Discrete-time Signal Processing	1・2・3後		2		1					専任教授1名が平成23年度に定年退職 のため後任補充までの間、兼任教員が 担当。なお、学生の教育に支障はな い。(24) 教育内容充実のため科目を追加（高度 な英語技術科目の増設）(23)	
	Advanced International Academic Skills	1・2・3後		2			1				教育内容充実のため科目を追加（高度 な英語技術科目の増設）(23)	
大学 院 実 践 教 育 科 目	大学院輪講第二	1～3通	4			26 28	30 25	20 24		6		専任教授・専任准教授・専任助教の退 職、昇任、採用に伴う変更(24) 専任教授・専任准教授の退職、昇任、 採用に伴う変更(23)
	ベンチャービジネス特論	1・2・3前		2								
	知的財産権特論	1・2・3後		2								
	先端技術開発特論	1・2・3後		2								
	ETL(Elementary Teaching Laboratory)	1・2・3通		2		1	2	1		1		実験教育内容充実のため教授2名、准 教授1名、助教1名で対応(22)
	技術経営実践スクール	1・2・3前		2								
	大学院インターンシップ	1・2・3前		2								
	大学院インターンシップ（海外）	1・2・3前		2								
	大学院インターンシップ（長期）	1・2・3前		4								
大学院インターンシップ（海外・長期）	1・2・3前		4									
大学 院 専 門 展 開 科 目	環境材料学特論	1・2・3前		2			1					
	ナノフォトニクス特論	1・2・3前		2				1				
	光通信システム特論	1・2・3前		2			1	2				他コースと開講学期を揃えるための修 正（教育効果向上を目指す）(24)教育 内容充実のため教授2名で対応(22)
	ナノエレクトロニクス特論	1・2・3後前		2					1			他コースと開講学期を揃えるための修 正（教育効果向上を目指す）(22)
	超伝導デバイス特論	1・2・3後		2			1					
	計算物性学特論	1・2・3後		2					1			
	集積回路設計学特論	1・2・3後		2			1					
	光通信デバイス特論	1・2・3後		2			1					
	固体・ソフトマターフォトニクス特論	1・2・3前		2			1					
	光計測特論	1・2・3前		2					1			
	情報光学特論	1・2・3後		2			1		1			専任教授の負担軽減のため平成24年度 に専任准教授1名に変更した。なお、 学生の教育に支障はない。(24)
	生体計測工学特論	1・2・3後		2					1			
	低温度量子物性工学特論	1・2・3前		2			1					
	固体量子工学特論	1・2・3前		2			1		1			より教育内容に即した担当者への変更 (22)
	統計物理学特論	1・2・3前		2					1			
	現代レーザー分光学特論	1・2・3前		2			1					
	原子光学特論	1・2・3前		2			1		2	1		専任准教授1名が専任教授に昇任(23) 教育内容充実のため准教授2名で対応 (22)
	凝縮体量子工学特論	1・2・3後		2					1			
	電子物性特論	1・2・3後		2			1		1			教育内容充実のため教授1名、准教授 1名で対応(22)
	X線結晶学特論	1・2・3前		2					1			
固体物性化学特論	1・2・3前		2			1						
化学反応論特論	1・2・3前		2			1						
生体情報システム学特論	1・2・3前		2			1						
物質生命情報学特論	1・2・3前		2									
ヒューマンインタフェース特論	1・2・3後		2					1				
生体有機化学特論	1・2・3後		2			1						

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	無機物質化学特論	1・2・3後		2		1						
	運動計測学特論	1・2・3後		2		1						
	材料分析特論	1・2・3後		2		1						
	ゲノム生物学特論	1・2・3後		2					1			
専門 上級 科目	先進理工学特論	1・2・3前	2			27 28	24 27	1		7		専任教授・専任准教授・専任助教の退職、昇任、採用に伴う変更(24)

- (注) ・ 事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時（平成22年度に認可された大学等は設置認可時）より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても、「(1) 授業科目表」にはその状況を反映させてください。（ただし、「(3) 未開講科目」欄には記載する必要はありません）。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 2	科目 47	科目 0	科目 49	科目 2 [0]	科目 49 [2]	科目 0 [0]	科目 51 [2]	

(注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

(注) ・配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。（ただし、未開講科目があった場合は、(1)「授業科目表」にその状況を反映させてください。）

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

(注) ・設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

(注) ・小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考	
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	(例) 校舎敷地と別地 (徒歩〇分)	
	校舎敷地	m ²	m ²	m ²	m ²		
	運動場用地	m ²	m ²	m ²	m ²		
	小 計	m ²	m ²	m ²	m ²		
	そ の 他	m ²	m ²	m ²	m ²		
	合 計	m ²	m ²	m ²	m ²		
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	〇〇短期大学と共用	
		m ² (m ²)	m ² (m ²)	m ² (m ²)	m ² (m ²)		
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		
	室	室	室	室 (補助職員 人)	室 (補助職員 人)		
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数			
				室			
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点
		〇〇学部 ([])	([])	([])	()	()	()
	計	([]) ([])	([]) ([])	([]) ([])	()	()	()
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		
	m ²						
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				
	m ²						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員 1 人当り研究費等 千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共 同 研 究 費 等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円
	学生 1 人当り 納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次
		千円	千円	千円	千円	千円	千円
	学生納付金以外の維持方法の概要						

- (注) ・ 届出時の計画を、届出書の様式第 2 号 (その 1 の 1) に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1) 校地等」及び「(2) 校舎」は大学全体の数字を、その他の項目は A C 対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨 (所要時間・距離等) を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5) 図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成 2 4 年 5 月 1 日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(24)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更 (校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延) がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

大学の名称	電気通信大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
電気通信学部 (昼間コース)								東京都調布市 調布ヶ丘1丁目	平成22年度から 学生募集停止
情報通信工学科	4	-	-	-			平成11年度	5番地1号	
情報工学科	4	-	-	-			平成11年度		
電子工学科	4	-	-	-			平成11年度		
量子・物質工学科	4	-	-	-			平成11年度		
知能機械工学科	4	-	-	-			平成11年度		
システム工学科	4	-	-	-			平成11年度		
人間コミュニケーション学科 (夜間主コース)	4	-	-	-	工学		平成11年度		
情報通信工学科	4	-	-	-			平成11年度		
情報工学科	4	-	-	-			平成11年度		
電子工学科	4	-	-	-			平成11年度		
量子・物質工学科	4	-	-	-			平成11年度		
知能機械工学科	4	-	-	-			平成11年度		
システム工学科	4	-	-	-			平成11年度		
人間コミュニケーション学科	4	-	-	-			平成11年度		

(注) 1 本調査の対象となっている大学等の設置者が、すでに設置している大学の学部、学部の学科について状況を記入してください。

(大学院に係るものについては、記入する必要はありません。)

2 事前伺い手続き書類の「設置計画の概要」に準じて作成してください。

3 「定員超過率」欄には、過去標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科の記載は不要です。

4 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「-」とし、備考欄に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<情報理工学研究科 総合情報学専攻（博士後期課程）>

(1) 担当教員表

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	

(注) ・届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇研究科 〇〇専攻(〇〇課程)〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。

- ・後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
- ・辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
- ・年齢は、「認可時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成24年5月1日現在の満年齢を記入してください。
- ・教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
- ・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 専任教員数

認可時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
24	6	30	0	23	10	33	0	
(24)	(6)	(30)	(0)	[Δ1]	[4]	[3]	[0]	

(注) ・「届出時の計画」には、届出時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成24年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に届出時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			
2			
3			

- (注) ・ 届出時の計画からの専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

- (注) ・ 上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			
2			
3			

- (注) ・ 届出時の計画からの専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

- (注) ・ 上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			
2			
3			

- (注) ・ 届出時の計画からの専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

- (注) ・ 上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			
2			
3			

- (注) ・ 届出時の計画からの専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

- (注) ・ 上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年△△月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年□□月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年●●月)			

- (注) ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば添付してください。
- ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

7 その他全般的事項

<情報理工学研究科 総合情報学専攻（博士後期課程）>

(1) 設置計画変更事項等

認可時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
記入例) ① 修了要件単位数 1 2 4 単位 必修科目〇〇単位, 選択科目〇〇単位 ② 施設・設備 a 講義室〇室 (〇㎡) b 自習室〇室 (〇㎡) c 図書〇〇冊	① 学生の専門性をより高めるため、必修科目（1科目・2単位）を追加。（別添〇「新旧対象表」参照） ② 学生の修学環境を改善するため、講義室、自習室をそれぞれ〇部屋（〇㎡）増やすとともに、図書も〇〇冊増書した。

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置認可時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制 a 委員会の設置状況 b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） c 委員会の審議事項等 ② 実施状況 a 実施内容 記入例) ・ 授業方法について研究会 ・ 教員相互の授業参観 ・ 新任教員のための研修会 等 b 実施方法 c 開催状況（教員の参加状況含む） d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況 a 実施の有無及び実施時期 b 教員や学生への公開状況、方法等

- (注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）
 ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

.....

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

記入例)

・平成24年5月1日 公表

b 公表方法

記入例)

・自己点検・評価報告書を発行し、近隣企業（〇〇社）及び希望があった学生（〇〇名）に各1冊を配布
・大学ホームページ上に公開予定（平成24年8月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

記入例)

・平成24年度に評価機関（〇〇〇〇〇〇）の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 届出時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(平成 24 年 6 月 29 日)

7 その他全般的事項

<情報理工学研究科 情報・通信工学専攻（博士後期課程）>

(1) 設置計画変更事項等

認可時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
記入例) ① 修了要件単位数 1 2 4 単位 必修科目〇〇単位, 選択科目〇〇単位 ② 施設・設備 a 講義室〇室 (〇㎡) b 自習室〇室 (〇㎡) c 図書〇〇冊	① 学生の専門性をより高めるため、必修科目（1科目・2単位）を追加。（別添〇「新旧対象表」参照） ② 学生の修学環境を改善するため、講義室、自習室をそれぞれ〇部屋（〇㎡）増やすとともに、図書も〇〇冊増書した。

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置認可時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制 a 委員会の設置状況 b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） c 委員会の審議事項等 ② 実施状況 a 実施内容 記入例) ・ 授業方法について研究会 ・ 教員相互の授業参観 ・ 新任教員のための研修会 等 b 実施方法 c 開催状況（教員の参加状況含む） d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況 a 実施の有無及び実施時期 b 教員や学生への公開状況、方法等

- (注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）
 ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

.....

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

記入例)

・平成24年5月1日 公表

b 公表方法

記入例)

・自己点検・評価報告書を発行し、近隣企業（〇〇社）及び希望があった学生（〇〇名）に各1冊を配布
・大学ホームページ上に公開予定（平成24年8月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

記入例)

・平成24年度に評価機関（〇〇〇〇〇〇）の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 届出時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(平成 24 年 6 月 29 日)

7 その他全般的事項

<情報理工学研究科 機械知能工学専攻（博士後期課程）>

(1) 設置計画変更事項等

認可時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
記入例) ① 修了要件単位数 1 2 4 単位 必修科目〇〇単位, 選択科目〇〇単位 ② 施設・設備 a 講義室〇室 (〇㎡) b 自習室〇室 (〇㎡) c 図書〇〇冊	① 学生の専門性をより高めるため、必修科目（1科目・2単位）を追加。（別添〇「新旧対象表」参照） ② 学生の修学環境を改善するため、講義室、自習室をそれぞれ〇部屋（〇㎡）増やすとともに、図書も〇〇冊増書した。

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置認可時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制 a 委員会の設置状況 b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） c 委員会の審議事項等 ② 実施状況 a 実施内容 記入例) ・ 授業方法について研究会 ・ 教員相互の授業参観 ・ 新任教員のための研修会 等 b 実施方法 c 開催状況（教員の参加状況含む） d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況 a 実施の有無及び実施時期 b 教員や学生への公開状況、方法等

- (注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
- 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

.....

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

記入例)

・平成24年5月1日 公表

b 公表方法

記入例)

・自己点検・評価報告書を発行し、近隣企業（〇〇社）及び希望があった学生（〇〇名）に各1冊を配布
・大学ホームページ上に公開予定（平成24年8月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

記入例)

・平成24年度に評価機関（〇〇〇〇〇〇）の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 届出時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成24年 6月29日)

7 その他全般的事項

<情報理工学研究科 先進理工学専攻（博士後期課程）>

(1) 設置計画変更事項等

認可時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
記入例) ① 修了要件単位数 1 2 4 単位 必修科目〇〇単位, 選択科目〇〇単位 ② 施設・設備 a 講義室〇室 (〇㎡) b 自習室〇室 (〇㎡) c 図書〇〇冊	① 学生の専門性をより高めるため、必修科目（1科目・2単位）を追加。（別添〇「新旧対象表」参照） ② 学生の修学環境を改善するため、講義室、自習室をそれぞれ〇部屋（〇㎡）増やすとともに、図書も〇〇冊増書した。

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置認可時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制 a 委員会の設置状況 b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） c 委員会の審議事項等 ② 実施状況 a 実施内容 記入例) ・ 授業方法について研究会 ・ 教員相互の授業参観 ・ 新任教員のための研修会 等 b 実施方法 c 開催状況（教員の参加状況含む） d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況 a 実施の有無及び実施時期 b 教員や学生への公開状況、方法等

- (注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
- ・ 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

.....

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

記入例)

・平成24年5月1日 公表

b 公表方法

記入例)

・自己点検・評価報告書を発行し、近隣企業（〇〇社）及び希望があった学生（〇〇名）に各1冊を配布
・大学ホームページ上に公開予定（平成24年8月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

記入例)

・平成24年度に評価機関（〇〇〇〇〇〇）の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 届出時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(平成24年 6月29日)